

医療法人社団 鶴友会 広報誌
ほほえみ



医療法人社団 鶴友会
鶴田病院

096-382-0500(代)
096-382-0592



KAKUSHOEN
メディエイト
かく しょう えん
鶴翔苑

096-387-8181(代)
096-387-7001



在宅総合支援センター



医療法人社団 鶴友会の理念

最良の医療・福祉サービスを提供する。
笑顔に満ちた地域の施設を目指す。



© 2010 熊本県くまモン



医療法人社団 鶴友会

〒862-0925 熊本市東区保田窪本町 10-112

鶴田病院

介護老人保健施設

メディエイト 鶴翔苑

鶴翔苑 通所リハビリテーション

在宅総合支援センター

鶴友会 訪問リハビリテーション

鶴友会 居宅介護支援センター

鶴友会 訪問看護ステーション

鶴友会 訪問介護ステーション

熊本市東2地域包括支援センター
ささえりあ保田窪

鶴田病院HP

鶴翔苑HP

鶴友会在宅総合支援センターHP

公式Instagram

公式YouTube

公式LINE



再興

医療法人社団鶴友会 介護老人保健施設
メディエイト鶴翔苑 理事長
鶴田 克家



新年あけましておめでとうござい
ます。年末年始は穏やかな天気の日
が多く、皆様も健やかにお正月を迎
えられたことお喜び申し上げます。

が25周年を迎え、そして本年4月
には「鶴田病院」が50周年を迎える
節目の年です。しかし世の中は、コロ
ナ禍だけではなく、ロシアのウクライ
ナ侵攻、世界的なインフレ、我が国
中で当法人でも各部署で感染者が
出ています。法人横断的に協力を提
供できるよう、本年の法人の目標を
「再興」としました。

今後とも変わらぬご支援のほどよ
う、努力して参ります。

さて、昨年は「メディエイト鶴翔苑」
治療、サービスを受けていただける
よう、努力して参ります。



さらなる 50年に向けて

医療法人社団鶴友会 副理事長
鶴田病院 院長
鶴田 豊



当院は本年4月に設立50周年を迎
えます。地域の皆様のご支援・ご
理解・ご協力の賜物と、心より感謝
いたします。

昨年5月に日本医療機能評価機
構（一般病院13rdG:Ver.2.0）審査を
受審し、無事更新認定を受けまし
た。医療安全と医療の質は医療の
根本を成す重要事項ですが、さら
なる改善を目指し恒常的に取り組
み尽力して参ります。

世界的な新型コロナウイルス感染
症蔓延、紛争や政情・経済の変調、
我が国の急速な少子高齢化の進行
など、全世界で変動性・不確実性・
複雑性・曖昧性が高まっておりま
す。そんな時代にありましても、
今後50年の当法人の活動と当院
の医療がより一層地域社会に貢献
できるよう、法人・病院として職
員一同力を合わせ努力して参る所
存です。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻
のほどよろしくお願いいたします。



もっと多くの笑顔をもたらすために

鶴友会在宅総合支援センター
センター長

鶴田病院 在宅診療科 部長

岡村 茂樹



在宅総合支援センターが開設され、3年目に突入します。3年目

を迎えて、在宅総合支援センターが成し遂げたいこと、それは、全ての関わる方に、もっと多くの笑顔をもたらすことです。

在宅であつても、施設であつても、一人一人と必ず向き合うこと。

本人と共に家族とも関係性を保ち、本人を支える礎とすること。
本人が笑顔になれないとき、常に必ず笑顔になれるパートナーであること。

本人、家族、その大切な人生の一場面一場面と共に過ごさせて頂く事に感謝し、少しでも笑顔に満ちた



私達もその笑顔に支えられ、毎日が感謝の日々です。皆様と、笑顔に満ちた新たな一年を過ごせることに感謝し、センター一同、精進して参ります。



地域の皆様とともに

鶴田病院 開設50周年 メディエイト鶴翔苑 開苑25周年



鶴田病院は昭和48年4月に鶴田胃腸科外科医院として開業し、鶴田外科胃腸科病院（同52年4月）～鶴田病院（同62年7月）と変遷、平成24年7月には新病院を建設、そして本年4月に開設50周年を迎えます。

また、介護老人保健施設メディエイト鶴翔苑は令和4年12月で開苑25年を迎えました。

これからも最良の医療・介護・福祉・保健サービスを提供し、地域に根ざした「笑顔あふれる施設」を目指して参ります。
今後ともよろしくお願ひいたします。

人工透析センターの増床工事が無事完了しました

腎臓内科部長 兼 人工透析センター長 植田 美紀

free Wi-Fi

送迎対応

オンラインHDF

幅広い合併症に対応

この度、人工透析センターの増床工事が無事完了しました。18床より新たに8床追加し合計26床（内3床感染対応ベッド）にて稼働できる運びとなりましたのでご案内いたします。

当院の透析センターは、昭和63年に開設し、約30年に渡り地域に根差した透析医療を担つて参りました。近年、透析患者さんの高齢化や糖尿病による腎障害の増加に伴い、心筋梗塞や脳卒中、骨折などの合併症が多くみられています。透析患者さんの回復期リハビリ病棟入院のニーズが高まっている中で、今回の増床により更なる基幹病院との連携強化と受け入れの安定化を図る所存です。



▲センターを拡張、8床追加し26床になりました

引き続き外来維持透析患者さんの治療も行っており、ご自分で通院が困難な方への送迎サービスも行っています。

当院の「笑顔に満ちた施設」を元に、今後も透析センタースタッフ一同、患者さんとご家族に寄り添いながら治療を行っていくけるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

患者受け入れ、透析治療に関するご相談

地域連携・相談支援センター TEL（直通）096-285-6755



▲感染対応陰圧ブースも完備

鶴友会訪問看護ステーション

訪問看護管理者 三嶋 裕子



自己紹介

去年の8月より鶴友会訪問看護ステーションの管理者をさせて頂いている三嶋裕子と申します。私は、これまで基幹病院をはじめ介護老人保健施設や透析病院、回復期病棟などを経験し、平成5年に救急救命士免許も取得しております。令和3年4月に鶴友会訪問看護ステーションに入職しました。

訪問看護では病院と違い、ご利用者のお宅に赴き、生活感や価値観に応じた個別的なケアを生活の場で提供し、安全で安楽な自立した生活を送ることができるように支援します。訪問時の判断やアセスメント力が求められ難しい面もありますが、やりがいを感じています。

看護職は患者の一番近くにいる存在として、病院から在宅への橋渡しを行い、「チーム医療のキーパーソン」としてリーダーシップが発揮できるように努力していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

部署紹介

鶴友会訪問看護ステーションには、現在6名の看護師と理学療法士3名、作業療法士1名が在籍しています。ステーションがある在宅総合支援センターには、訪問診療、訪問介護、居宅介護支援センターが同じフロアにあり、チームとして活動しています。

訪問看護では、患者さんファーストをモットーに医学的視点を持つ療養生活支援者として、地域の皆様の「活きて生きる」を支えます。

鶴田病院内に緩和病棟もあり、がん末期の患者さんも多く、今年度は20名を超す在宅看取りも行っております。地域の方々が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう鶴友会スタッフが一丸となって全力でサポートいたします。

医療・介護連携システム

MeLL+ を導入しました!



在宅総合支援センターおよびメティエイト鶴翔苑では、法人内でのシームレスな医療・介護・福祉の連携を目的に、患者さんやご利用者の集約し共有出来るシステムとして「MeLL+ professional」を導入しました。

訪問看護・訪問介護をはじめ、入所・通所リハ・居宅介護支援・地域包括支援がリアルタイムに情報共有することによって適切なタイミングでのアクションに繋がります。

また基幹システムである「ワイスマンシステム」とも連携しているので、業務の効率化が実現しました。

今後は、連携先医療機関とも情報共有し、医療・在宅・介護と一貫した、より質の高いサービス提供を目指します。

学術発表紹介

発表者	緩和ケア病棟主任 岡嶋 典子
発表大会	第46回日本死の臨床研究会年次大会
演題	看護師のACPに対する認知度と関りについて ～各部署の意識調査から見えたもの～

発表者	臨床工学技士 岡崎勇作
発表大会	第5回九州CART研究会
演題	KM-CARTにおけるマスクアの使用経験

発表者	理学療法士 大野耕太朗
発表大会	第60回日本癌治療学会学術集会
演題	フレイル、高度肥満癌患者に対する施設間連携術前リハビリテーションの有用性 A study on the effect of inter-institutional preoperative rehabilitation for highly obese and frail patient undergoing gastrointestinal cancer surgery

発表者	医療安全管理室副室長 松田理恵
雑誌名	患者安全推進ジャーナル

タイトル 医療安全に向けた会員病院の取り組み

発表者	管理栄養士 石坂 美佳
発表大会	第63回全日本病院学会in静岡
演題	直営給食での地産地消の取り組み～野菜の旬を中心に～

発表者	放射線科主任 鈴山晋也
発表大会	第20回熊本県放射線技師会学術大会

演題 大腿骨大転子の撮影法について

発表者	理学療法士 大野耕太朗
発表大会	第27回日本緩和医療学会学術大会
演題	「がん・心不全・COPDを呈した症例への早期緩和ケア」～HOPEの実現に向けた理学療法士の役割～

発表者	院長 鶴田 豊
発表大会	第21回日本LPEC研究会

演題 コロナ禍での成人女性L1型鼠径ヘルニアへのLPEC法導入経験

●大野理学療法士より

第60回日本癌治療学会学術集会にて術前リハビリテーションの有用性について発表を行いました。今回、全国的にも稀有な取り組みである大学病院との施設間連携のなかで、手術後の重症合併症を予防するにはフレイルスコアと6分間歩行距離の改善が重要であることが示唆されました。

癌患者さんが増加する近年は多角的なリハビリアプローチが必要となってきています。運動器・呼吸・心臓・健康増進などの認定理学療法士資格だけでなく、今後はエビデンスを構築しながら「癌」認定資格の発足の一助となるよう研鑽を重ねていく所存です。



【写真左より】熊本大学病院 消化器外科 特任教授 吉田直矢先生
鶴田病院 リハビリテーション部 大野耕太朗理学療法士

訪問栄養指導について

最近食欲がない、食べたり飲んだりするとムセてしまう、退院後の食事をどうしたらいいのかよくわからないなど、在宅でこんなお悩みはございませんか。

訪問栄養指導は、管理栄養士が居宅に訪問し、患者さんが無理なく食生活を改善できるよう、食事内容の聞き取りを行います。その上で、現在の栄養状態を評価し、食に関するアドバイス、食習慣に合わせた献立のご提案や調理実習を行っております。

気になられましたらまずは主治医の先生、またはご担当のケアマネージャーにご相談ください。

ご利用できる方

- 下記の①、②の条件を両方満たしている方
- ①介護保険の要支援、要介護認定を受けている方、もしくは医療保険を利用している方で、通院困難な方
- ②治療のために、特別な食事管理を必要とする方

サービス詳細

■訪問の時間・回数・料金

訪問日はご予定に合わせて、調整させていただきます。

■訪問時間 約30分～1時間程度

■訪問回数 1ヶ月に2回までご利用いただけます。

■利用料金

保険の種類によって料金が変わります
(医療保険や介護保険の利用)。

ヘルシーカツキュー



材料(4人分)

豚肉60g×4枚 (もも、肩ロース、ロースなど生姜焼き用程度の厚さ) ゆずみそ
麦芽味噌大1/2(9g)
赤みそ大1/2(9g)
マーマレード大さじ1弱(18g)
柚子こしょう小1/3(2g)
だし汁大さじ1(15cc)
チンゲン菜1束(200g)
うすくち醤油小さじ1(6g)
赤酒小さじ1(6g)
だし汁小さじ2/3
人参約1/2本(80g)
うすくち醤油小さじ2/3(4g)
赤酒小さじ2/3(4g)
だし汁適宜

豚のゆずみそ焼き

1人当たり

エネルギー/190kcal
たんぱく質/11.7g
食塩相当量/1.1g

豚肉にゆずこしょうを加えた味噌をぬって焼く、人気の一品です。

この季節、おろした柚子の皮などを加えてもさらに風味が増して美味しいだけです。
付け合せに季節の温野菜をたっぷり添えていただくといいですね。

給食ではやわらかく食べていただけるよう豚バラを使っていますが、お好みで他の部位や豚肉以外でも鶏肉、鮭やさわらなどの魚でもアレンジ可能です。
ぜひご家庭でもお試しください。

作り方



- ①ゆずみその材料を混ぜ合わせ、だし汁でのばす。
- ②肉に①のゆずみそをぬり、グリルやオーブンの中火で焼く。焦げやすいので、様子を見てアルミホイルをかぶせる。
- ③付け合せを作る。
チンゲン菜は茹でて冷水に取り、絞って調味料Aで和える。
人参は、1cmの半月に切り、調味しただし汁Bで煮る。



患者さんに負担をかけない安心して介入できる口腔ケア

第1回

ケア用品の紹介（選び方）

鶴田病院歯科口腔外科より、清掃用具の選び方や使い方、歯磨きの方法、災害時への備えなどご紹介していきます。今回は清掃用具の選び方についてご紹介します。



歯ブラシ選び方

歯周病やむし歯を予防する上で毎日の歯みがきは欠かすことができません。皆さんそれぞれの口腔内の状態や身体状況に合わせてブラッシングしやすい歯ブラシを選択することで効果的に清掃することができます。歯ブラシは、ヘッドが大きすぎず、普通サイズのもので、ふつうの硬さがおすすめです。細かい部分のケアにはヘッドが小さいものが磨きやすいでしょう。

	メリット	デメリット
やわらかめ	歯茎を傷つけにくい	除去率は低い
硬め	除去率は高い	歯茎を傷つけるリスクがある

硬さ

交換時期

歯ブラシの毛先が広がってきたら交換時期です。毛先が広がっている歯ブラシは除去率が下がったり粘膜を傷つける恐れがあります。

歯ブラシの背中側から見て、毛がはみ出ているようであれば交換しましょう。

また、衛生面も考えて月1回は交換することをお勧めします。



歯ブラシと歯間清掃を併用することで歯間のプラーク(歯垢)除去率UP!

歯ブラシのみの口腔清掃は除去率が約60%と言われています。歯ブラシと一緒に歯間ブラシやフロスを使用することで除去率が80%以上にアップします。歯周病対策の為にも歯間清掃で歯と歯の間、歯と歯茎の境目の清掃を心がけましょう。



歯間ブラシ



歯間ブラシは、食べ物が詰まりやすい隙間の広い部分に使用します。適切なサイズの歯間ブラシを使用することが大切です。サイズ選択はかかりつけの歯科医にご相談することをお勧めします。ご自身で選択する際は、小さめのサイズから試すとよいでしょう。



交換時期

歯間ブラシは、破損のリスクがあるためワイヤーが曲がったり、毛先が傷んでしまったら交換しましょう。



フロス

フロスは、歯と歯の接した面や歯間ブラシが入らない隙間の部分に使用します。



ホルダータイプ（初心者向け）		糸巻きタイプ（上級者向け）
F字	Y字	全ての歯のプラーク除去に適している 経済的・衛生的

ホルダータイプ（初心者向け）
糸巻きタイプ（上級者向け）



健口は健康の入り口

Voiced by https://CoeFont.cloud

当院の歯科口腔外科医師監修のもと、歯科衛生士による

【口腔ケアの手順】について動画を公開しています。

歯科衛生士が不在でも、患者さんに負担をかけない安心して介入できる口腔ケアのポイントについて解説しています。

鶴友会YouTubeチャンネルよりご覧いただけます

<https://youtu.be/qhwS6yhAtZ8>

携帯からは
コチラ



病院機能評価の認定を更新（4回目）しました

一般病院1 機能種別評価項目3rdG : Ver.2.0 認定

病院機能評価とは、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかを第三者の立場から評価されるものです。

審査は5年おきに行われ、2006年に1回目を受審してから4回目の更新となった今回、およそ90ある審査項目のうちS評価4つ、A評価82つ、B評価1つという結果を頂きました。この結

果、業務改善の取り組みや一定の医療の質の基準を満たしていくことになります。

次回受審は4年後ですが、継続的に改善の取り組みを行い、地域の患者さんやご家族から、また地域の医療機関からも求められる病院となるよう、皆様の声に耳を傾けながら、職員一同努力してまいります。



https://www.report.jcqhc.or.jp/detail/id=3327#sinsa_kekka



2022 メディエイト鶴翔苑 通所リハビリテーション カルチャー活動紹介!

鶴翔苑 通所リハビリテーションでは、様々なカルチャー活動を行っています。
これからも利用者のみなさんの「やってみたい！」をお手伝いしていきます！

生け花



ひと月に2回、行っています。生け方は様々で、みなさんの個性溢れる素晴らしい作品を眺めるのが楽しみです。

習字



ボランティアの先生に指導していただき、毎年「熊本県シルバー作品展」に出展しています。2022年は賞もいただきました。

園芸



「翔ちゃん農園」で野菜を育てています。収穫した野菜はキッチンクラブで美味しいお料理に大変身しています。

映像会



昔懐かしのスターの映像をプロジェクターを使用し上映しています。スタッフも衣装を準備してノリノリで行っています。

学び帳



ご利用者お一人お一人の好みに合った脳トレをセレクトした「学び帳」を準備しています。空き時間などに取り組まれています。

手芸



手芸キットやスタッフが準備した材料で壁飾りやバッグ、木目込み、お正月飾りなどを製作しています。

絵手紙



季節の花や食べ物などを描いています。落ち葉のカードやクリスマスカード、年賀状も作成しました。

ぬり絵



みなさん熱心に取り組まれております。出来上がった作品は「塗り絵コンクール」に応募しています。

キッチン クラブ



リハビリの一環として旬のお料理を作っています。煮物や炊き込みご飯、おせち料理など手の込んだ料理も作っています。

職員募集のお知らせ

■ 医師 腎臓内科(透析)、在宅診療科、総合診療科、リハ専門医

■ 看護師・准看護師

病棟、透析、夜勤専従(PA)、訪問看護、在宅診療科、入所

■ 介護福祉士・介護士・アシスタント

病棟、透析、入所、訪問介護

■ 言語聴覚士・作業療法士・理学療法士

■ 調理師 ■ 管理栄養士 ■ 医療事務

詳細はお問い合わせください。
HPにも掲載しております。



お問い合わせ先

Tel.096-234-6550

✉ recruit@kakuyuukai.or.jp